



大石田の夏をまるかじり スイカオーナー収穫イベントを開催

スイカオーナー収穫イベントが、8月3日(土)、4日(日)の2日間、深堀ふれあい農園で行われ、県内外から家族連れのオーナーなど約500名が訪れ、大きく実ったスイカの収穫体験を楽しみました。農園を29年に渡って管理する芳賀哲雄さんは、「最近の豪雨もあり心配したが、例年以上のおいしいスイカになった」と生長を振り返り、オーナーが大きく育ったスイカを収穫する様子を嬉しそうに見ていました。

収穫イベントではスイカの収穫のほかに、ペそら漬などの試食コーナーや、スイカの種飛ばしなどが行われ、参加者は大石田の夏を満喫していました。



交通事故や犯罪のない 安全で安心なまちを願って

大石田町・尾花沢市安全安心大会が、7月22日(月)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。安全安心大会は、「明るいやまがた」夏の安全県民運動を推進するため大石田町と尾花沢市が輪番で開催しているものです。

この日は、尾花沢市在住ミュージシャンである古藤拓さん、大石田町地域おこし協力隊の久保田舞さん、社会福祉法人ふたば保育園ぞう組の園児によるオープニングセレモニーが行われたほか、尾花沢市防犯協会の鈴木勲会長の大会宣言やふたば保育園ぞう組の園児による決意表明が行われ、参加者たちは安全で安心なまちづくりの実現に向け決意を新たにしていました。

大会終了後、青パト出発の見送りが行われ、大石田町防犯協会の熊谷富太郎会長の号令により、各地区への巡回を行いました。



みんなで最上川を考えよう かわまちづくりワークショップ

町内3校の小学4年生を対象としたかわまちづくりワークショップが7月8日(月)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。

ワークショップでは、グループごとに分かれて、「最上川でやってみたいこと」についてアイデアを出し、意見交換を行いました。参加した児童からは、芋煮会や釣りなどの意見が出され、楽しみながら最上川について考えていました。

また、9日(火)には、中学生を対象としたワークショップも行われ、未来の自分を想像しながら、アイデアを出し合い、最上川の「これから」について考えてました。



子どもの創意工夫を育む 少年少女発明クラブ

プログラミング体験やものづくり工作などを通して楽しく学ぶことを目的としたクラブである尾花沢・大石田少年少女発明クラブの活動が7月20日(土)にオプテックス工業株式会社で行われ、大石田町からは、9名の児童が参加しました。今年3回目となった今回は、プログラミングを利用して、自作のゲームを作るというもので、参加者は講師の先生の指示のもと思い思いのゲームを作成していました。参加した三瀧心道さん(南小学校4年)は「難しかったが、楽しかった。実際にプログラミングで動く車などを見てもっとプログラミングを学びたい。」と話していました。



南小の児童がそばの種まきを体験

そばの種まき体験が、7月24日(水)に大石田南小学校前の畑で行われ、南小の4年生児童14人が作業を体験しました。これは、横山地域農地・水・環境保全組織の協力で毎年行われているものです。

この日児童は、指導者の小内正美さんや有川稔さんなどから種のまき方を教わり、学校前の畑で種まきを体験しました。児童は畑に入ると、ゆっくりと歩きながら手に持ったそばの種をまんべんなく、均等になるように気を付けながらまいていました。

南小では、秋ごろにそばの刈り取りとそば打ち体験授業を予定しています。



仲間と爽やかな汗を流して 親睦 深める

第23回きららクラブ大石田グラウンドゴルフ大会が7月12日(金)に、スポーツ広場で行われました。大会には42人が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

- 第1位 青木 孝行(大浦)
- 第2位 飛渡 正美(坂ノ上)
- 第3位 長瀬 勝子(上ノ原)
- 第4位 小坐間 道子(四日町)
- 第5位 齊藤 利雄(愛宕町)
- 第6位 柏倉 章(朝日町) (敬称略)